

実践記録（小6・総合的な学習の時間）

1 ねらい

情報を基に自分の立場を決め、意見交流を通して自分の考えを深めることができるようにする。

2 手立て

自分の考えや根拠を明らかにするワークシートと、意見交流のために付箋紙を活用する。

〈考えや根拠を明らかにするワークシートの活用〉

物語を前半、中盤、最後までに分け、それぞれの場面でオオカミへの子豚の行動が「しかたがないこと」か「いけないこと」なのかを考え、ワークシートの「考えメーター」に表すようにする。また、考えの根拠も合わせて記述し、場面ごとに自分の考えがどのように変化したか、視覚的に捉えられるようにする。

〈意見交流のための付箋紙の活用〉

活発な意見交流が行えるように、自分の考えや根拠となる情報を付箋紙に記入してまとめておく。ワークシートに付箋紙を貼りながら考えを伝え合うことで、相手の考えを読み返したり、反対意見を考えたりしながら、自分の考えを深められるようにする。

【ワークシート】

3 実践の様子

前時に、NHK for School 昔話法廷「3匹のこぶた」を視聴し、家に侵入したオオカミに対して、子豚の行動が正当防衛になるかを考えさせた。考えるポイントとなる場面では動画を停止し、教師が黒板に情報を整理しながら、「しかたがないこと」「いけないこと」という観点で考えさせるようにした。子どもたちは、場面ごとの自分の考えをワークシートの「考えメーター」に表すとともに、考えの根拠を記述しながら自分の立場を決めた。

本時では、ワークシートと付箋紙を活用して意見交流を行った。グループに分かれて意見交流を行う前に、場面ごとの考えを付箋紙にまとめ、相手のワークシートに付箋紙を貼りながら意見交流をするようにした。子どもたちは、「この場面だけど、無理矢理家に入ろうとしたオオカミが悪いと思うよ。」「でも、家に入れてあげようとしなかったことは、かわいそうじゃないかな。」など、それぞれの考えを伝え合う姿が見られた。

最後に、意見交流の内容を振り返りながら、自分の考えをまとめさせた。子どもたちは、「オオカミが子豚を脅していたのが悪いということが納得できた。」「オオカミの行動が原因なのはわかるけど、やっぱり子豚もやりすぎたと思う。」「やりすぎだとは思いますが、子豚が身を守るためには仕方がなかったと思う。」など、友達のことを取り入れながら、自分の考えをまとめていた。

4 成果と課題

- 自分の考えの変化を視覚的に捉えられるようにしたことで、様々な根拠から立場を決めて意見交流を行うことができた。
- 意見交流に付箋紙を活用したことで、読み返して反対意見を考えたり、考えに共感したりしながら自分の考えを深めることができた。
- 一方的に自分の考えを伝えるだけで満足してしまった児童もいたため、友達の意見のよいところに気付かせるための手立てが必要だと感じた。

【ワークシートの記述】

【考えを交流した付箋紙】